



B 5

765



明治十八年十二月廿一日内務省勅旨

地理初歩

第一

人類居住スル所ハ地球ハ一ノ行星ニシテ其形

圓トシテ殆橙ノ如シ

地球ノ中徑ハ東西凡三千二百三十四里ニシテ

其周圍ハ凡一萬零百三十五里ナリ南北凡三千

二百二十三里ニシテ其周圍ハ一萬零百三十里

ナリ

此地球表面ノ事ヲ知り得ル學ヲゼオガラヒ

ト云フ



ゼオガラヒトトハ、即地理學ト云フ義ニシテ、地球表面ノ事ヲ説キ明スナリ、  
 地理學ニ三種アリ、○「ナチュラル」ポリチカル、マテマチカルト云ス、○「ナチュラル」ゼオガラヒトトハ、地形、山川、海島、ナドノ自然ニ由ルモノヲ説キ明ス、學ナリ、○「ポリチカル」ゼオガラヒトトハ、都府、郡縣、城市、ナドノ政治ヨリ出ルモノヲ説キ明ス、學ナリ、○「マテマチカル」ゼオガラヒトトハ、地球ノ運動、方角、里數、ナドノ數學ニ關スルモノヲ説キ明ス、學ナリ、

第二

人民ノ住居スル所ハ地球ノ外面ナリ、  
 地球ノ外面ハ、陸ト、水トニヨリテ成レルナリ、然レトモ、水ト、陸トハ、其大サ、同ジカラズシテ、水ハ、陸ニ比ブレバ、殆ト三倍ノ大サアリ、  
 地球ノ外面ニアル、陸ト、水トヲ示ス、圖ヲ地圖ト云ス、其地圖ニハ、全地球ヲ示ス者アリ、或ハ半球ヲ示スモノアリ、  
 地圖ヲ東西ニ分チテ、東ノ半球ヲ示シタルヲ、東半球ノ圖ト云ヒ、西ノ半球ヲ示シタルヲ、西半球

ノ圖ト云フ

東半球圖



西半球圖



第三

地球ニ四個ノ方位アリコレヲ東西南北ト云フ

今圖ヲ以テ東西南北ヲ示サ

此小兒ノ右ノ手ハ朝日ノ方  
 ヲ指シ左ノ手ハ夕日ノ方ヲ  
 指セリ是小兒ノ右ヲ東トシ  
 小兒ノ左ヲ西トスルヲ知ル  
 ベシ然ラバ小兒ノ背ハ南ニ  
 シテ面ハ北ニ向ヘリ、



此方位又地球ノ四方ト云ス

第四

東西南北ニ又中間ノ方位アリ東北西北東南西南是ナリ

地球ノ中彩色ヲ施セル部分又陸トス其白キ者ハ水ナリ

爰ニ畫ケルハ地球上ノ三大陸ニシテ其周邊ハ大洋ナリ大洋トハ海ノ大ナル者ヲ云ス三大陸ハ東大陸西大陸及澳大利ニシテ東大陸又分チテ三大洲トスコレニ西大陸及澳大利又合セテ

五大洲ト稱ス

五大洲ノ中四大洲ハ東半球ニアリ亞細亞 歐羅巴 澳大利 亞弗利加ノ四洲即是ナリ  
西半球ニ在ル大陸ハ北亞米利加 南亞米利加ナリ

此五大洲ノ中尤大ナルモノハ亞細亞ニシテ尤小ナルモノハ澳大利ナリ

此東西二球又合セテ全地球トス

第五

地圖ノ頂上ニ偏リタルヲ北部ノ國ト云ヒ右傍

ニ在ルヲ、東部ノ國ト云フ下方ハ南部ノ國ニシ  
テ左傍ハ、稱シテ西部ノ國ト云ヘリ  
地球ノ表面ニ、縱横ノ線アリ、其南北ニ引キタル  
線ヲ經線ト云ヒ、東西ニ引キタル線ヲ緯線ト云  
フ、緯線中央ニ在ル者ヲ赤道トス、  
緯線ハ、地球ヲ一周スル所ノ圓ニシテ、等シク其  
間ヲ畫スルヲ以テ南北ニ至ルニ隨ヒ、其周圍漸  
小トナルナリ、○經線ハ、皆南北ノ極ヨリ引キ出  
ダシタル圓ナルヲ以テ、其長サハ、同ジト雖、兩線  
ノ間各差違アリ、

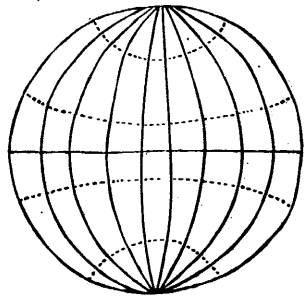
此經緯ノ線ハ、各三百六十アリ、テ線ト線トノ間  
ヲ、一度ト云フ、

此緯線ノ度ヲ數フルニハ、赤道ヨリ數ヘテ南北  
ニ至ルナリ、假令ヘバ、赤道ヲ零度ト定メテ、ソレ  
ヨリ北ヘ、二線ヲ隔ツレバ、北緯二度ト云ヒ、南ヘ  
三線ヲ隔ツレバ、南緯三度ト云フノ類ナリ、但經  
線ニハ、其本ト定ムベキ所ナシ、我國ニテハ、東京  
ヲ本トシ、コレヨリ、西經幾度、東經幾度ト、數フル  
ナリ、

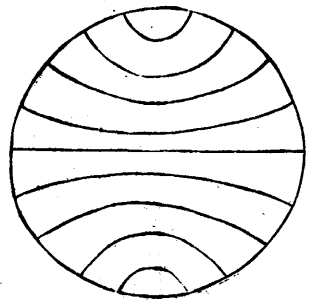
赤道ヨリ、南北共ニ二十三度半ニシテ、各一線ア

リ北ニアルヲ夏至線ト云ヒ南ニアルヲ冬至線  
 ト云フ此二線ノ間ハ氣候極メテ熱シ故ニ稱シ  
 テ熱帶ノ地ト云フ○南北ノ極ヨリ二十三度半  
 ニシテ各一線アリ北ニアルヲ北極線ト云ヒ南  
 ニアルヲ南極線ト云フ此二線ト南北極ノ間ハ  
 氣候極メテ寒シ故ニ寒帶ノ地ト稱ス○極線ト  
 二至線トノ間ハ其氣候寒暖中ヲ得ルニ因リ稱  
 シテ中帶ノ地ト云フナリ、

經線圖



緯線圖



第六

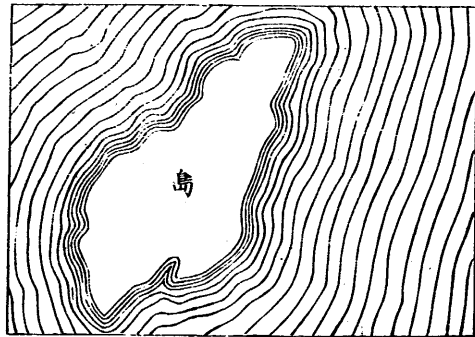
地球上三五大洋アリ太平洋大西洋印度洋南冰  
 洋北冰洋ナリ、

北冰洋ハ西半球ト東半球トノ北部ニ在ルヲ云  
 フ○太平洋ハ東半球ノ東部ト西半球ノ西部ト  
 ニ在ルヲ云ス○印度洋ハ東半球ノ中央ニアリ  
 ○南冰洋ハ西半球ト東半球トノ南方ニアリ○  
 大西洋ハ西半球ノ東部ト東半球ノ西部トニア  
 ル云フナリ○此五大洋其在ル所ノ地方ヲ以  
 テ言ヘバ北冰洋ハ北亞米利加ノ北ト歐羅巴及  
 亞細亞トノ北ニアリ大西洋ハ亞細亞ノ東ト南  
 北亞米利加トノ西ニアリ印度洋ハ亞弗利加ノ  
 東ニアリ大西洋ハ歐羅巴ト亞弗利加トノ西ニ

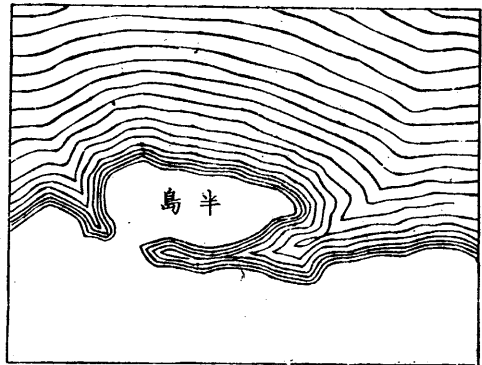
アリ

第七

島 圖



半島 圖



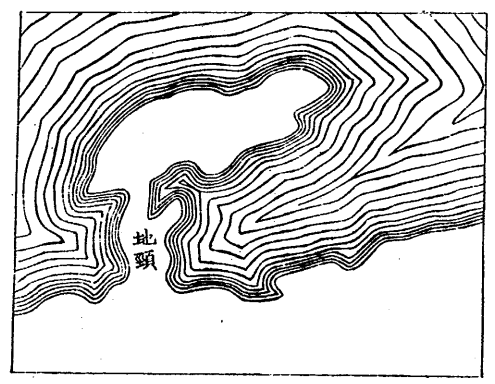


水四周ヲ圍ミタル地ヲ島ト云ス其形ハ三大陸ニ同ジト雖小ナルヲ以テ名ヲ異ニセルナリ

大陸ニ續キタルヲ半島ト云フ

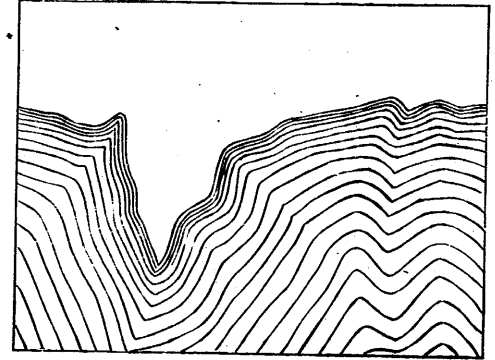
半島ト大陸ト續キタル其間ノ細クシテ且長キ地ヲ地頸ト云フ大地ノ一角尖ヲナシテ遠ク海中ニ突き出テタ

地頸圖

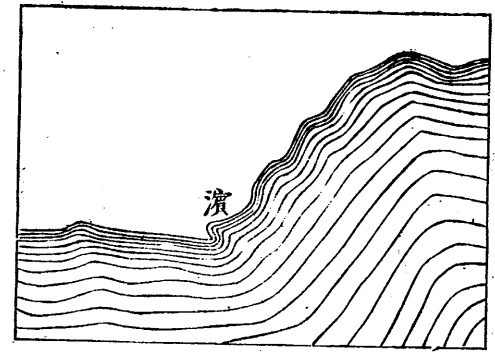


ル所ヲ崎ト云フ

崎圖



濱圖



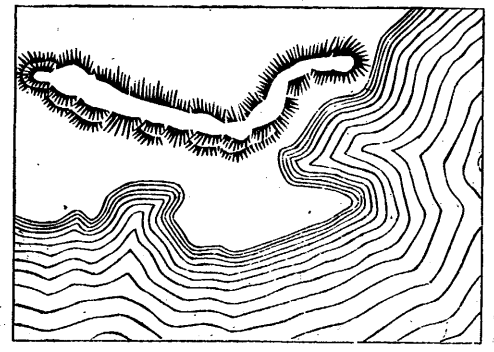
陸地ノ長ク海ニ沿ヒタル所ヲ濱ト云フ

陸地上ニ、土石高ク起レルモノヲ、山ト云フ、  
山人較小ニシテ、低キ者ヲ岡ト云フ、

山 圖



嶺 圖



兩山ノ間ヲ、谷ト云フ、

山々相接シテ、長ク亘レルヲ、嶺ト云フ、

山巔或ハ山背ニ、穴ア

リテ、常ニ火烟ヲ噴キ

出ダスヲ、火山ト云フ、

火山ハ、時アリテ、焼石、

浮石等ヲ噴キ出ダス

者ナリ、

地ノ廣平ナル者ヲ、原

ト云フ、

火山 圖

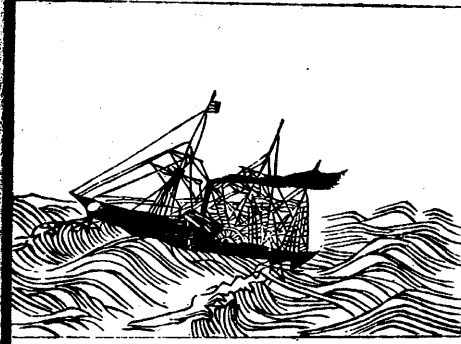


地理神考 卷之八 海部

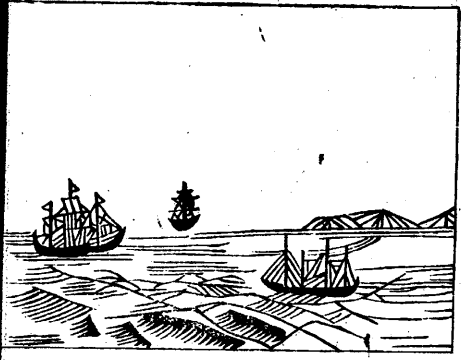
至ル所皆沙ニシテ水草ナキヌ沙漠ト云フ、  
第八

大洋トハ海ノ廣大ナルモノヲ云フ、

大洋圖

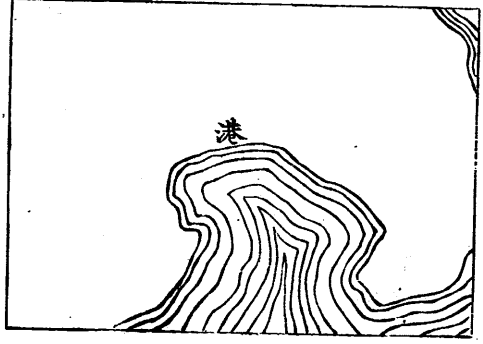


海圖

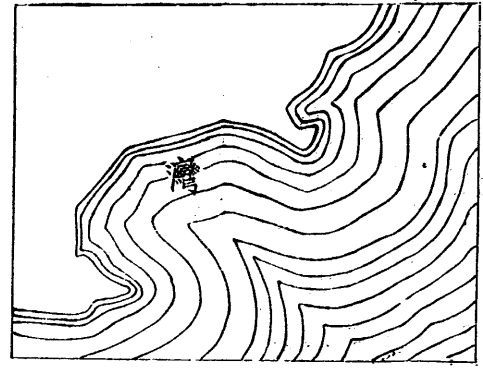


海トハ、兩陸ノ間ニ介マリタル所ヲ云フ、即大洋ノ分レタルナリ、

港圖



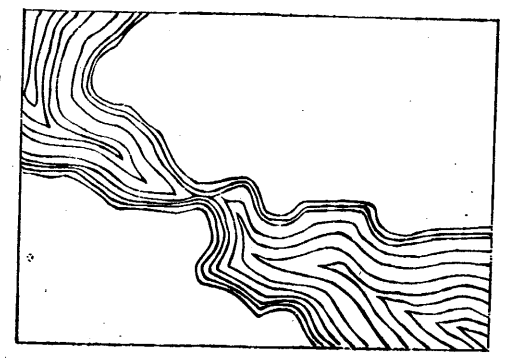
灣圖



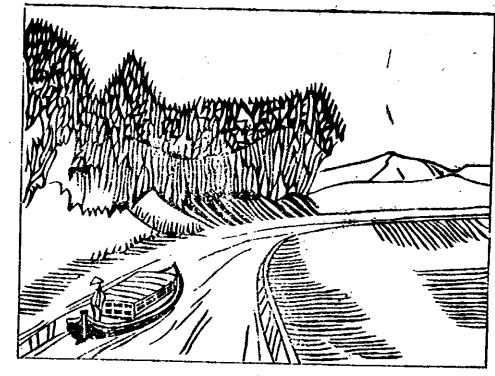
地理神考 卷之八 海部

海ノ深ク陸地ニ入りテ船ヲ泊スルニ便ナル處  
ヲ港ト云フ

海峽圖



溝圖



水ノ陸地ニ曲リ入レル處ヲ灣ト云フ

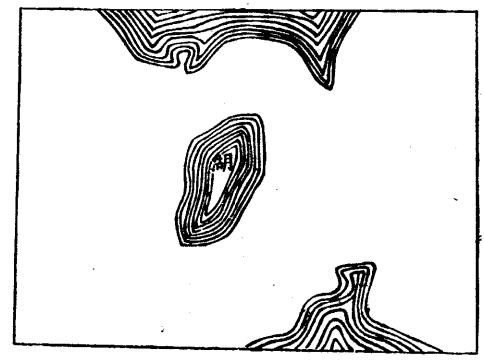
陸地ノ間ニアリテ海水互ニ相通スル狹キ所ヲ  
海峽ト云フ

溝ハ人工ヲ以テ鑿キ  
通シタル者ニシテ物

ヲ運漕スルニ用キル  
水流ナリ

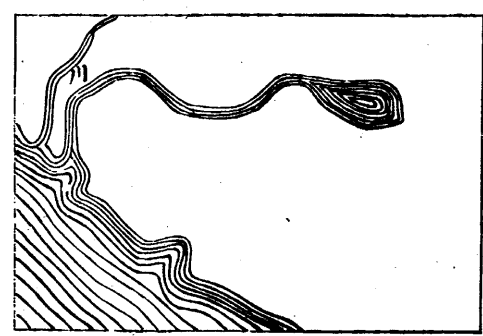
四面全ク陸地ヲ以テ  
圍ミタル處ヲ湖ト云  
フ其中或ハ一方河海

湖圖



ニ通ズルモノアリ  
川ハ陸地ノ間ヲ流ル、水ヲ云フ、

川 圖



瀑 圖



川水ノ始メテ、流れ出ヅル所ヲ源ト云フ、  
其流小ナルモノヲ小川ト云フ、マタ深廣ニシテ、  
大船ノ往來スベキモノヲ大河ト云フ、  
水ノ山上或ハ高キ所ヨリ急ニ低キ地ニ落チ下  
タルモノヲ瀑ト云フ、  
地理初歩 終

明治十八年十一月廿四日 翻刻御届



翻刻出版人

小林亀之進

東京本町四丁目十六番地